

高山赤十字病院紀要

(第41号) 2017年

高山赤十字病院紀要

第41号



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

高山赤十字病院紀要 第41号

平成30年3月1日発行

発行 高山赤十字病院
〒506-8550 岐阜県高山市天満町3-11
電話 (0577) 32-1111 (代)

印刷 中京コピー株式会社
〒461-0001
愛知県名古屋市中区泉三丁目30番3号
電話 (052) 931-2611

二〇一八年三月

巻頭言	棚橋 忍	1
臨床・症例検討		
難治性菌性上顎洞炎に奏効したRFP・MINO併用療法	大久保恒正・他	3
The Early Effect Onset of SSRI to the Non-Organic-Pain in the Mouth and Face Area	大久保恒正・他	8
The Supposition of the Mechanism of SSRI to the glossodynia as Non-Organic-Pain (in the Mouth and Face Area)	大久保恒正・他	11
急性前壁梗塞の加療後、左室自由壁破裂 (Left ventricular free wall reapture : LVFWR)を来した症例	阪 哲彰・他	14
Medical Relief Operation for Syrian refugees in northern Greece	白子 順子・他	17
尿管結石を起因とした閉塞性尿路感染に対する緊急ドレナージ施行例の臨床的検討	小島圭太郎・他	24
画像診断にて診断が困難であった肝硬変性血管腫の一切除例	桐山 俊弥・他	30
造影超音波内視鏡検査が悪性所見の評価に有用であった膵尾部 intraductal papillary-mucinous carcinoma (IPMC) の1例	奥野 充・他	35
Special Report		
The training experience of Red Cross hospital of Takayama city	趙 振新・他	42
剖検検討会報告(CPC)		
劇症型A群溶連菌感染症の1例	林 佳奈・他	46
顕微鏡的多発血管炎治療中に意識状態の悪化を来した一例	桐山 俊弥・他	50
サイトメガロウイルス腸炎治療中に十二指腸穿孔、多臓器不全状態に陥った症例	平野 雅・他	54
原発不明・扁平上皮癌の1例	間瀬 純一・他	60
胃癌が疑われたCEA高値の1例	水口 景太・他	64
剖検検討会報告(miniCPC)		
原疾患不明のネフローゼ症候群に対する、ステロイド治療中、敗血症の合併が疑われた1剖検例	戸原 遼・他	68
尿路感染症を契機に心不全増悪をきたした1剖検例	谷口奈都希・他	72
剖検記録		
抄録		
業績・他		
平成27年(2015年) 当院における病理解剖の現状	岡本 清尚・他	75
院内合同発表会記録		78
各科業績記録		82

高山赤十字紀要
JRC Takayama Hosp

高山赤十字病院

CONTENTS

The Early Effect Onset of SSRI to the Non-Organic-Pain in the Mouth and Face Area.....	T.OHKUBO et al.	8
The Supposition of the Mechanism of SSRI to the glossodynia as Non-Organic-Pain (in the Mouth and Face Area).....	T.OHKUBO et al.	11
Medical Relief Operation for Syrian refugees in northern Greece	J.Shiroko et al.	17

- I. 本誌は年1回発行し、高山赤十字病院職員および関係者の論文等を掲載する。
- II. 投稿論文は未発表のものとする。原稿の採否は編集委員会が決定する。
- III. 原稿
 1. word形式で、A4版用紙1枚に40字x40行の横書きで作成する。
 2. 原稿の第1枚目に、論文題名、著者名、所属、和文抄録(400字以内)、索引用語(5個以内)を記載し、本文は2枚目から始める。
 3. 英文タイトル、著者名、所属、英文抄録(200語以内)の用紙を添付することにはこだわらない。
 4. 各章の標題は、大項目をI、II、III・・・、中項目を1. 2. 3・・・、小項目を1)、2)、3)のように記載する。
 5. 論文の長さ、図・表・写真の枚数は、制限することがある。
 6. 提出にあたっては、印刷版と電子メディアの両方を提出する。
 7. 共同著者に名前を挙げる人には、必ず事前に承諾を得る。
- IV. 図・表
 1. 各々の図(写真)・表は番号・見出しを付けて、本文にも挿入箇所を指定する。
 2. 図(写真)は鮮明なものを使用する。
 3. カラー印刷は、実費を徴収する。
- V. 文献
 1. 主要文献のみ、原則として20個以内とする。
 2. 本文の引用箇所^{1) 2) 3)}のように肩番号をつけ、文末に一括して掲載順に記載する。
 3. 著者は2名までは併記し、それ以外は「他」「et. al.」と省略する。
 4. 雑誌は、著者名：論文題名、雑誌名 巻数：始頁—終頁、年号(西暦)の順に記載する。
 欧文雑誌名の省略はPub Medに従う。和文雑誌名は原則として省略しない。
 例：2) 橋本健一、柴田敏朗、他：低血糖脳症後に食行動異常が自制困難となった1型糖尿病の1例
 糖尿病 52：291—294、2009
 4) Yokoyama Y., Asano Y. et. al. :Familial Occurrence of Arteriovenous Malformation of the Brain J Neurosurg
 74：585—589, 1991
 5. 単行本は、著者：章の見出し、編者名、書名、版次、発行者、発行地(都市名)、発行年(西暦)、始頁—終頁の順に記載する。
 例：5) 塩屋正道、安田一郎、他：膵癌に対するEUS-FNIによる腹腔神経叢ブロック、安田健治朗編、胆膵内視鏡診療の
 実際、日本メディカルセンター、東京、2009、227—232
 6. Webページは、サイト名、タイトル、URL、[アクセスした年月日]を記載する。
 例：7) 日本小児科学会、インフルエンザ脳症ガイドライン <http://www.jpeds.or.jp/influenza/influenza090928.pdf>、
 [accessed 2011年5月10日]
- VI. 短報

仕上り1—2頁の短報、photo reportも受け付ける。
- VII. 学術業績の記録

雑誌発行時の前年度に発表された学会演題、投稿論文の記録(以下の書誌事項)を掲載する。提出の際は、電子メディアを提出する。

 1. 投稿論文：論文題名、所属、著者名、雑誌名、巻数：始頁—終頁 発行年(西暦)
 2. 学会発表：演題名、所属、発表者名、学会名、発表年月日(西暦)、発表地(都市名)
- VIII. 著作権
 1. 本雑誌に掲載された論文の著作権は、高山赤十字病院に帰属する。
 2. 本誌に掲載された著作物の全文又は一部を電子化し、赤十字リポジトリサーバ或いは、その他のコンピュータネットワーク上で公開することがあります
 3. 本雑誌に投稿する際には「投稿および著作財産権譲渡承諾書」を提出する

附則

この規程は 平成28年10月1日から施行する